

主な取り組み



小中学校全校にエアコン設置

県内2番目となる「中核市」に移行

ご当地「越谷ナンバー」導入

ガーヤちゃんの蔵屋敷を開設

避難施設整備・耐震飲料用貯水槽増設

越谷いちごタウン開設、都市型農業育成

看護師等修学資金貸与制度を新設

八湖越谷線(西方工区)開通

学童保育室の2室化を7校で実施

レイクタウン区画整理事業を完成

公共施設での太陽光発電等推進

市長とふれあいミーティング継続開催

谷中消防分署を移転・開設

一般会計の地方債(借金)の縮減

高橋 つとむのプロフィール

1943年(昭和18年)越谷市生まれ
 日大法学卒、越谷市役所に勤務
 1975年(昭和50年)越谷市議に当選(連続6期)
 1998年(平成10年)県議補選で当選(連続4期)
 2009年(平成21年)越谷市長選に当選
 2013年(平成25年)2期目当選
 現在 越谷市長
 日大校友会埼玉県支部顧問
 行政書士
 性格 まじめ 親しみやすい 正義感が強い

高橋つとむさんを応援します。



埼玉県知事
上田 清司

前越谷市長
板川 文夫

元越谷市長
黒田 重晴

那花 和子
レクリエーション
協会副会長

水落 明
走友会会長
(同窓生)

中島 さより
JAZZシンガー
作業療法士

一ノ瀬 加代子
地域医療を考える
市民の会越谷代表

安全・安心の越谷をめざす市民の会

高橋つとむ ホームページはこちらから
<http://takahashi-tsutomu.com/>
 〒343-0813 越谷市越ヶ谷 2-2-1 クローバービル1階
 電話番号 048-971-8563 fax 番号 048-971-8562
 発行人 黒田重晴



ココアル
COCOAR 2

アプリをダウンロード(無料)
 イラストにカメラを合わせるだけ!
 スマートフォンやタブレットで映像が観られます。

高橋つとむ



誠実で親しみやすい
 温厚な人柄
 どなたにも分け隔てなく
 気軽に語り、素早く行動する
 市民派・庶民派の市長

2期8年の



中学生卒業までの医療費の無料化

保健所・夜間急患診療所を開設

病児保育所をレイクタウンに開設

第4老人福祉センター(ひのき荘)開設

獨協越谷病院と連携、地域医療体制充実

待機児童解消で、保育所定員992人増

小中学校耐震補強、前倒し完了

福祉なんでも相談窓口を開設

児童発達支援センター開設

越谷駅東口再開発事業を完成

エフエムこしがやの開局支援

南部図書館を移設・拡張

公契約条例を制定

中央図書館、バスポートセンター等開設

目指す 越谷のまちづくり

3つのスローガン

①「安心度埼玉No.1の越谷」のまちづくりをめざして

台風・大雨・たつ巻などの自然災害の被害をいかにして最小限にとどめること、犯罪や交通事故等人為的トラブルを防ぐことに全力をあげて、他市に先駆けた「安心度埼玉No.1」のまちづくりをめざします。

②「市民が誇れる越谷」のまちづくりをめざして

中核都市になった越谷が「水と緑と太陽に恵まれた人と地域がささえる快適都市」、埼玉県南東部地域の中心都市にふさわしいまちをめざします。あわせて、市民一人ひとりがお互いに励まし合い、協働して福祉を充実させ、越谷市に

住んで良かったと誇りの持てるまち、生活者に優しいまちをめざします。

③「いきいき活性化する越谷」のまちづくりをめざして

人口増が続いている今こそ、首都圏25キロ圏の越谷市は利便性に優れた立地を活かし、

農業、工業、商業、物流などの産業活性化と良質な雇用の拡大をはかり、いきいきしたまちづくりをすすめます。



今後4年間の重点政策

8つの目標と具体項目

①子育てにやさしい 誰でもが安心してらせるまち 越谷

- ・保育所や学童保育室の待機児童をなくすため、定員の拡大を行います。
- ・保育ステーションをさらに増やします。
- ・困ったときに気軽に相談できる「なんでも相談窓口」を2カ所（南・北）増設します。
- ・障がい者の社会参加及び就労支援を促進し、保護者への支援を拡充します。
- ・子育て世代包括支援センター設置を推進します。
- ・子ども食堂・フードバンクへ支援や就学支援等を拡充して子どもの貧困対策をすすめます。
- ・身体障がい者への日常生活用具の支援を拡充します。
- ・高齢者や子どもの見守り活動体制の強化をはかります。
- ・原発事故避難者への支援活動をサポートします。
- ・公立保育所の改築、耐震化工事を推進します。

②健康で生涯安心して暮らせるまち 越谷

- ・健康まちづくりを推進し、高齢社会を地域で支えあう仕組みを創り上げます。
- ・地域福祉のかなめである地域包括支援センターの体制を強化していきます。
- ・医療と介護の連携を強め、新保健センターの機能充実をはかります。
- ・認知症対策を積極的に推進し、福祉人材育成をはかる独自の越谷版認証制度を創設します。
- ・緩和ケア・ターミナルケア、救急体制の強化など市立病院機能を拡充します。
- ・超高齢社会に対応した救急医療と在宅医療の連携を推進します。
- ・検査キットの給付など壮年・中年層の健康診査の充実をはかります。
- ・介護と育児を両立するための支援を推進します。

③誰もがいきいきと働き生活できるまち 越谷

- ・積極的に土地利用をはかり、流通・工業の拠点づくりをめざします。
- ・立地を活かした産業の活性化で市内における良質な雇用の拡大をはかります。
- ・東京近郊の特性を活かした都市型高収益農業を積極的に推進します。
- ・越谷の魅力を発信、創出する「道の駅」の整備にとりくみます。
- ・宿泊施設など観光基盤を整備し観光事業を推進します。
- ・中心市街地活性化事業を推進します。
- ・空き家対策を積極的に推進します。

④水と緑と太陽の下、自然豊かなエコタウン 越谷

- ・自然豊かな河川緑道整備の促進をはかります。
- ・ふれあい収集の条件緩和などごみ収集体制の拡充をはかります。
- ・ごみの減量化とリサイクル率の向上など資源ごみの有効活用を促進します。
- ・公共施設への太陽光設備の設置など太陽エネルギーの積極活用をはかります。

⑤災害に強い、安全・安心・快適なまち 越谷

- ・国と連携した防災拠点施設の整備にとりくみます。
- ・排水ポンプの増設など内水排水設備を整備拡充します。
- ・JR武蔵野線市内地域の高架化と側道整備にとりくみます。
- ・都市計画道路や道水路の整備を推進します。
- ・災害時要援護者に対する避難体制、および避難所環境の整備を推進します。
- ・国・県と連携した中川等幹線水路の整備など「総合治水対策」を推進します。
- ・緊急輸送道路等に架かる橋りょうの整備・安全対策を推進します。
- ・24時間対応可能なAEDの設置および貸出体制の充実をはかります。
- ・防災拠点でもある市役所本庁舎を市民が利用しやすい施設に整備します。
- ・プライバシー保護を配慮し、犯罪防止のため防犯カメラ設置を推進します。

- ・バス網など公共交通網の整備を促進します。
- ・鉄道駅ホームにおける安全対策を促進します。
- ・災害時における動物援護体制の充実をはかります。

⑥元気でスポーツ、レクリエーション文化の輝くまち 越谷

- ・小中学校のトイレ洋式化の整備を促進します。
- ・しらこぼと運動公園第二競技場の人工芝化をはじめ、スポーツ・レクリエーション、文化施設の改修等を推進します。
- ・いじめ対策、及び不登校児童生徒への支援を推進します。
- ・学校図書館司書のさらなる拡充で、子どもの読書力向上などをはかります。
- ・就学援助制度における入学前支給を推進します。
- ・プレーパーク常設化に向けた取り組みをすすめます。
- ・小中学校施設の整備と充実をはかります。
- ・県立大学、文教大学との連携をさらに強めていきます。
- ・英語教育の環境づくりを推進します。

⑦地方分権、市民自治のまち 越谷

- ・自治会加入促進等のため、自治会振興交付金の増額をはかります。
- ・自治会館の活用を促進し、住民の交流、防災など自治意識の高揚をはかります。
- ・地区センター、公民館を計画的に整備し地区住民の利便性の向上をはかります。
- ・図柄入りご当地ナンバープレートを導入します。
- ・新たな出張所開設を検討し、市民サービスの拡充をはかります。
- ・自治基本条例の趣旨に基づく市民参加の行政を推進します。
- ・ご当地「こしがやエフエム」(86.8MHz)の支援と活用をはかります。
- ・協働のまちづくりのため「市長とふれあいミーティング」を推進します。

⑧子どもたちにツケを残さないまち 越谷

- ・適正な行政コストの維持と後世にツケを回さない健全な財政運営をはかります。

- ・公共施設の適正な管理と新たな活用方法の推進をはかります。
- ・「オープンデータ化」を推進し、地域の活性化を促進します。
- ・公共サービス基本条例の制定を推進します。

3つのスローガンと8つの目標を熱く語る高橋つとむ現市長

